

質問回答

2017 年 6 月 12 日

「2017 年度案件別外部事後評価:パッケージ I-6 (セネガル、キニアビスウ、マリ)」

(公示日:2017 年 5 月 31 日 / 公示番号:170317)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	24 頁、(8)マリ「バマコ中央市場 建設計画」	マリですが、特別区域には行かれると聞いています。団員が特別区域から現地補助員を使い調査することも可能でしょうか？安全を考え、団員はセネガルにいたほうがいいのでしょうか？	バマコ市(「Bamako District」と呼ばれるバマコ特別区(6 コミューン)を指します)への日本人業務従事者の入域は可能です。当該案件の事業サイトはバマコ市に限定されますので、基本は <u>業務従事者がバマコ市で現地調査を行うことを想定</u> しています。ただし、業務従事者が当該地域への入域を行わず、遠隔調査を行う提案も認めているものです。
2	28 頁 第 3 業務実施上の条件	「副業務主任者の配置を認める。副業務主任はプロジェクトの評価の業務を担当しながら、総括業務経験の蓄積を目的に、本パッケージの品質管理、スケジュール管理について総括を補佐する」とあるので、副業務主任が担当するプロジェクトの評価を総括と異なる案件でもいいのでしょうか？	副業務主任者は、案件担当としての業務及び総括業務(スケジュール管理・品質管理)を行います。 副業務主任者が担当する案件は、総括(プロジェクト評価 1)が担当する案件とは異なる案件としてください。 一方で、総括業務については、案件の重複 / 分担について特にルールはありません。業務指示書に記載する総括用の業務量を目安に受注者内で業務を調整いただくことになります。

3	p23 (4)	現地調査補助員の安全対策に必要な経費の一環として、常時連絡をとりあうための携帯電話のSIMカードや通話料金(プリペイド式)等の計上は認められますでしょうか。	現地調査補助員の安全対策経費についても計上可能です。
4	p25-26 表	「ア. 現地調査説明用資料」の言語・部数に関し、「英文 1 部・電子版(メール送付可)」との記載があります(イ～オについても同様)。これは印刷製本版、電子版をそれぞれ 1 部ずつ提出するとの理解で正しいでしょうか。またその場合、印刷製本版の仕様は簡易製本でよろしいでしょうか。	電子版のみの提出で結構です。
5	同上	「ア. 現地調査説明用資料」に関し、「案件ごとに英文 1 部(全 5 案件については、左記に加えて、葡文、仏文 1 部)」との記載があります(エについても同様)。これは 5 案件のうち、「ギニアビザウ案件の評価については英文と葡文、残る 4 案件については英文と仏文での提出が必要」との理解でよいでしょうか。	失礼しました、ご理解の通りです。 ギニアビサウ案件は英文と葡文、セネガルとマリ の案件については英文と仏文で現地説明用資料 を提出してください。
6	P29 (5)一般管理費の加算	マリ「パマコ中央魚市場建設計画」について、本事業従事者が現地に渡航せず、全て現地調査補助員を活用して行う場合も、一般管理費の 10% 加算は認められるでしょうか。	現地調査補助員のみによる調査の場合は、一般管理費の加算対象外となります。
7	< 共通条項 > P.20 第 2 業務の目的・内容に関する事項 他案件にて受付けた質問ですが、共通条項に関わる部分であるため本案件でも掲載させていただきます。	3 案件ともインパクトの評価判断に必要な指標の情報については、既存データの収集のほか、定性調査を実施して確認することを想定しています。インパクトの検証に、サンプルサイズ 100(誤差 ± 10%)の定量調査(受益者調査)は想定していないということでしょうか？ そうであったと	今回の定性調査・定量調査の見直しの主旨は、一律「受益者調査」を行うのではなく、評価の判断に大きく影響を及ぼす情報の収集については、より厳格な統計分析を想定した定量調査を実施し、一方で簡略化が可能な場合は定性調査の実施を明示的に示すことで、調査にメリハリをつ

		<p>しても、インパクト検証にそのような定量調査(受益者調査)を提案することは可、という認識でよいでしょうか？</p>	<p>けることを目指したものです。よって、JICA から指定しない限りは、定量調査の実施は原則想定していません。</p> <p>例えば資金協力における評価ではインパクトの発現について、有効性(アウトカム)の発現の確認時ほど厳格なエビデンスは求めず、定性調査による補完、すなわち一定数のエンドユーザーに対するインタビュー調査(Focus Group Discussion など含む)を実施し、エビデンスの制約を踏まえた上で評価判断を行うことを想定しています。</p> <p>一方で定量調査を行う場合は、統計的に有意な結果を得るために適切なサンプルフレームとサンプルサイズを設定して実施することを JICA としても求めていきます。</p> <p>よって、インパクトの検証に定量調査の実施を提案される場合は、その必要性および、現時点で想定し得る調査目的と調査手法について、業務指示書に記載した総業務量を目安に提案をしてください。</p>
8	<p>< 共通条項 > P.20 5. 定性調査 / 定量調査の実施(1) 定性調査</p> <p>他案件にて受付けた質問ですが、共通条項に関わる部分であ</p>	<p>「第三者が同様の調査を行う場合にもその判断を迫るよう再現性を担保することを目指す」とありますが、これは、調査のデザインを、第三者でも同様に設計・実施できるように、明確な組み立て</p>	<p>ご理解のとおりです。調査の設計・記録については、評価方針 / 事前事後比較表の添付資料として提出いただく予定です。調査の実施方法を明確に記録することにより、恣意的な調査と</p>

	<p>るため本案件でも掲載させていただきます。</p>	<p>をすること、実施の記録を残すということでしょうか？異なる場合にはどのようなことであるか説明をお願いします。</p>	<p>ならないことを目指します。</p>
--	-----------------------------	--	----------------------

以上